

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-1-005
補助事業名 平成23年度 自転車競技の普及促進 補助事業
補助事業者名 (財)日本サイクリング協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目

① 指導者の育成等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/about/teach.html>

本協会が養成・公認したサイクリング指導者の活動により、他の模範となるサイクリング愛好者を増やすため、楽しいサイクリングのみならず「正しいサイクリング」を指導できるサイクリング指導者を養成するとともに、指導者用テキストを整備する。

② サイクリング大会の開催等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

全国47都道府県サイクリング協会に属する本協会公認の知識と経験豊富なサイクリング指導者を活用し、催事運営の豊富な実績に基づいたノウハウを投入できる各都道府県サイクリング協会による安心・安全で様々な形態のサイクリング大会を提供する。

③ 特別普及奨励事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

本協会がサイクリングイベント開催のノウハウの乏しい地域に協力して当該催事を育成し、最終的には補助金からの自立を目的とし、大会ごとに、その目的を明確に掲げ、安全・安心で地域にも貢献できるサイクリングイベントを開催する。

④ 神宮外苑サイクリングコース運営事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/jingu.html>

本事業は、サイクリングやサイクルスポーツへの底辺拡大の基礎となる場として位置づけ、神宮外苑の周回道路を毎日曜・祭日に交通規制してサイクリングコースを作り、自転車の無料貸出しを行うとともに、コース内の一部において自転車に乗れない人を対象とした自転車乗り方教室を開催することにより、気軽に安心して乗れる環境で、自転車の身体を使って走る楽しさ、爽快感を再認識させる場として、また、サイクリングやサイクルスポーツに関する様々な情報発信の場として提供していく。

(2) 実施内容

① 指導者の育成等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/about/teach.html>

全国の都道府県サイクリング協会と協力し、4地域においてサイクリング指導者の養成講習会を開催した。

また、自転車を取り巻く現状に合ったサイクリング指導者用テキストを作成した。

サイクリング指導者養成講習会を開催して、134名のサイクリング指導者を養成した。

サイクリング指導者用テキスト（追補版）200部を作成し、各都道府県サイクリング協会に送付し、既存の指導者と各協会員に対し最新の知識と技術の共有化を図った。

○指導者の育成等事業の写真

広島県指導者養成講習会の様子（H23. 11. 5）

競輪補助事業の表示

パンク修理講習



② サイクリング大会の開催等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

全国の都道府県サイクリング協会と協力して、全国サイクリング大会1回、ブロックサイクリング大会6回、県サイクリング及びサイクルスポーツ大会を42回実施開催した。

全国サイクリング大会528名、ブロックサイクリング大会1,188名、県サイクリング及びサイクルスポーツ大会7,497名の参加者を得た。

○サイクリング大会の開催事業の写真

三重全国大会（H23. 10. 22～23）

開会式風景

全国大会開会式 競輪補助事業の表示



全国大会 三重サンアリーナ出発風景
コースごとに分かれて出発



少数派となったランナーも健在



③ 特別普及奨励事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

事業を開催する地方自治体等と連携し、都市型ファミリーサイクリングのシティサイクリング大会、親子ふれあいサイクリング大会、ロングライドの自然共生サイクリング、耐久自転車競技大会を開催した。(蔵王ヒルクライム大会は東日本大震災で中止、Mt. Fuji エコサイクリングは台風12号の影響で中止)、

シティサイクリング大会(同2,244名)、親子ふれあいサイクリング大会(同30名)、自然共生サイクリング(同258名)、耐久自転車競技大会(同746名)を開催し、地域に根ざしたサイクリングの普及を図るとともに、広域に亘るサイクリング愛好者の参加を得る等、地域活性化や自転車競技の底辺拡大にも貢献した。

○特別普及奨励事業の写真

2011東京シティサイクリング(H23.9.18)

墨田区役所エイドステーションで東京スカイツリーをバックに記念写真



神宮外苑絵画館前がゴール



耐久サイクリング in 筑波 2011 (H23. 8. 7)

変則ル・マン式スタート前



仲間と10時間走り切ったゴール

メインスタンド前の大会バナー



プレゼント当選者等記念撮影用大会バナー



④ 神宮外苑サイクリングコース運営事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/jingu.html>

神宮外苑の周回コースを毎日曜・休日に自動車の交通規制を実施して、自転車を無料で貸出し、サイクリングを楽しんで貰うとともに、児童・幼児等を対象に、乗り方教室を開催した。年間58回実施して自転車を無料で貸出しと児童・幼児等を対象に乗り方教室を開催し、サイクリングの普及啓発や情報発信の場に努めた。(延べ利用者数63,707名)

○神宮外苑サイクリングコース運営事業の写真

未就学児童の子供自転車乗り方教室風景 1

未就学児童の子供自転車乗り方教室風景 2



小学生以上の自転車の乗り方教室風景 1



小学生以上の自転車の乗り方教室風景 2



四谷警察署共催の自転車教室



無料貸し出し自転車の様子



2 予想される事業実施効果

① 指導者の育成等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/about/teach.html>

サイクリングの特色は、極めて多岐多様な対応と展開が可能であるという所であり、子どもから大人までの幅広い年齢層、健常者も障害者も、日常から余暇まで、身体的トレーニングから精神的リフレッシュまで、ポタリングからロングツーリングまで、それぞれの目的とメンバーや場所に応じた適切な走行を楽しむことにより、人々の豊かな人生と明るい社会の構築に貢献できる。本事業で養成したサイクリング指導者は、そのサイクリングの普及発達に貢献し、野外活動としてのサイクリングの知識の蓄積及び自転車を取り巻く交通環境への対応と一般市民に対する交通安全運動への啓発活動は現代の社会づくりに必要不可欠なものである。

② サイクリング大会の開催等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

サイクリングをする場合、基本的には自分一人だけ（ソロツーリング）で活動できるにもかかわらず、サイクリング大会を開催して仲間と共に活動することを勧めるのは、そこに大きなスケールメリットの存在が確認されるからで、情報の交換、費用の削減、不安の軽減、パワーの結集、機能の分担、技能の伝承、成果の共有、危機場面への対応、感動の増大等々、一人では決して達成することのできない効果がそこには

存在するからである。この他、国民の健康志向や運動指向は潜在的にかなり存在すると思われ、気軽に参加できるサイクリング大会の参加を契機に本格的に自転車他サイクリングに取り組み人が増えた。

③ 特別普及奨励事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

自転車ブームが到来していると言われて久しいが、経済不況等近年の社会的状況を反映して、余暇活動の選択投資型余暇が増え、余暇活動の絞り込みが行われているが、手軽で身近な自転車による余暇活動に取り組み人は依然として増え続けている。本協会が実施した各種のサイクリング大会は、優れたプログラムとクォリティに裏付けされた質の高い余暇活動として、サイクリストの「クォリティ・オブ・ライフ」の向上に大きく寄与している。

④ 神宮外苑サイクリングコース運営事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/jingu.html>

本事業は、都心において一般市民に自転車の乗用機会を増やし、人と環境にやさしい自転車の有効利用の促進と交通安全の推進に貢献しているが、来場者が年々増加し、手軽に取り組むレクリエーションとして自転車を選択する人が増えている。わが国においても、次第に自転車（サイクリング）に対する理解が進んできたものと思われる。しかし自転車先進国としての欧米に比べると、未だその地位は確立していないと言わざるを得ない。自転車に関係する全ての産業、行政、組織、愛好者の連携の下に、すばらしい自転車環境の設立を目指したいと考える。

3 本事業により作成した印刷物等

① 指導者の育成等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/about/teach.html>

指導用テキスト教材「サイクリングインストラクター・ディレクター養成講習会用サイクリング専門科目テキスト」（平成23年度追補版）200部

② サイクリング大会の開催等事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

大会要項9,000部、大会ポスター700枚、大会プログラム1,000部、大会報告書300部

③ 特別普及奨励事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/event/list.html>

ア. 蔵王ヒルクライム大会の開催

（東日本大震災の影響で3月中に中止決定のため経費発生せず）

イ. シティサイクリングの開催

大会プログラム2,500部、大会報告書500部

ウ. 親子ふれあいサイクリング大会の開催

エ. 自然共生サイクリングの開催

大会プログラム1, 500部

オ. Mt、Fujiエコ・サイクリングの開催

大会プログラム2, 500部、大会報告書500部

カ. 耐久自転車競技大会の開催

大会プログラム1, 500部、大会報告書500部

④ 神宮外苑サイクリングコース運営事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/jingu.html>

神宮外苑サイクリングコース案内パンフ5, 000部

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： (財)日本サイクリング協会 (ザイニホンサイクリングキョウカイ)

住所： 〒107-8423

東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館3号館5階

代表者： 会長 谷垣禎一 (タニガキサダカズ)

担当部署： 業務第1部 (ギョウムダイイチブ)

担当者名： 部長 小林博 (コバヤシヒロシ)

電話番号： 03-3583-5628

FAX： 03-3583-5987

E-mail： jca@j-cycling.org

URL： <http://www.j-cycling.org>